

## 吹奏楽部 第18回定期演奏会

11月7日(日)に本校吹奏楽部による「第18回定期演奏会」が長井市民文化会館にて行われました。今年は521名の方々に来場していただきました。演奏終了後には、たいへん素晴らしい演奏であったという数多くのお褒めの言葉をいただきました。



## 荒高掲示板

第18回定期演奏会  
小規模校サミットの開催

## 小規模校サミットに参加しました!

10月23日(土)の小規模校サミットに荒砥高校から10名の生徒が参加しました。コロナ禍の中、昨年に引き続きオンライン開催となりましたが、グループ討議ではファシリテーター役を務め、全国23校の仲間と交流し、楽しく語らい親交を深めました。



## 中山寺の一丈塔婆

# さんぽ道

白鷹町史談会



今から約230年前の1794年5月27日、役人の厳しい取締りに苦しむ人々が決起して中山番所に火をつけた! 村人200名で起こした事件だったが、首謀者を円蔵さん一人に仕立て、中山並松(なんまき)の原で火あぶりの刑となった。処刑前に一丈(約3m)の供養塔を建てる約

▶ 塔婆の代わりに作った地蔵。随分と小さい。



束をしたが、なかなか石が見つけられず、立てば一丈になるといった地蔵様を中山寺山門の傍に建てることにした。すると村中に不審火がおこり、円蔵の祟りと恐れられるようになった。それから約90年もたった1884年、代蔵(字中田)のぼつちやが夢をみた。今のパラグライダーの着地点に大きな石材があるという。そこから切り出してきたのが、中山寺の一丈塔婆だ。一丈塔婆が建つてからは、村の不審火はなくなった。今でも毎年、春の大般若の時に村中で円蔵さんを供養している。どうぞ一度、中山寺本堂前の一丈塔婆で石の高さと背比べにお立ち寄りください。

(白鷹町史談会 竹田伊智子)

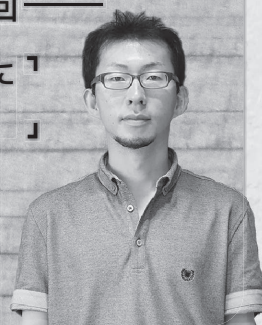
# 地域おこし協力隊通信

— 第 69 回 —

「興味のあることに」  
「チャレンジ」

地域おこし協力隊

貴田 洋介



地域おこし協力隊として活動しております鷹山地区担当の貴田です。主に農作業支援や有害鳥獣対策などで活動しています。今年もそろそろ終わると思うと早いものですが、白鷹町での生活にも慣れて部屋にカメムシがいても落ち着いて対処できるようになりました(笑)。現在は農作物の収穫も終わり、冬支度と来春に向けての作業が多く、時間に余裕があるので冷蔵庫に保存してある獣肉を使った加工品(燻製、干し肉)づくりなど



ブドウジュースを作りました！  
欲しい方は、ご連絡ください。  
連絡先：鷹山地区コミュニティセンター  
☎ 87-2502

にも挑戦しています。雪が多いと屋外での乾燥が上手くいかない。なので積雪量が今から気になります。あとはお世話になっていいる農業法人からブドウを譲ってもらい100%ジュースも作ってみました。濃くて美味しくできたと思うので限定数(10本)になります。欲しい方がいましたらご連絡ください。  
そんな感じで興味のあることに挑戦しつつ、任期後の自立に向けて住居や農地探しなども始めています。コロナの影響でイベントはまだやりづらい状況ですが自分の作った野菜や加工品を使ってみなさんと何かできるように頑張っていきたいと思えます。

## 町報川柳 — 流 —

我が流でも自己満足この世生き

最上川夕日に照らされひた流る

食卓の素材一流父母の作

悔しきで流す涙に無駄はない

ストレスを流す薬に酒がある

コロナ禍にめげず交流輪を広げ

新橋に広げて流る最上川

遠い日に流した涙ありがたう

厳寒の夜空にひとつ流れ星

とうとうと流れる母の最上川

松川の流れて泳いだ小さい頃

流れゆく母なる川は堂々と

流れ星良い事あれと祈りつつ

枯れ葉巻き荒き流れに冬間近か

清き川流れ乱する温暖化

人流と三密言われ三世代

最上川水清きして我教え

ふるさとで流しソーメン蝉しぐれ

盛り場に今も懐かし流し唄

世の中は時の流れに逆らわず

流木も皆の力で焚き木とす

一しづくそれが大河の最上川

濟んだこと水に流して未来志向

町の中車の流れかわりゆく

激流もゆるやかな流れもある人生

山口 石川與次右門

荒砥乙 木口 とよ

浦安市 鷹山 悠介

鮎貝 植木 英夫

十王 守谷 三郎

荒砥乙 保科 努

滝野 小関 俊英

浅立 梅津美千子

山口 渡部喜美子

荒砥乙 五十公野春巳

世田谷区 遠藤 八重

高岡 安部 健一

佐野原 竹田 正子

高玉 橋本つね子

菖蒲 小関 弘

箕和田 土屋 平敏

箕和田 土屋 敏子

高玉 高橋 朝子

坂戸市 安達 功

十王 守谷 勝助

十王 松野いせ子

広野 新野智耶子

鮎貝 羽田 孝輝

鮎貝 神保 玲子

山口 兎玉 保子

次回「新」十二月二十四日まで／「粒」一月二十五日まで(※作品には、ふりがなを振ってください)  
白鷹町大字荒砥甲八三三番地 白鷹町役場企画政策課情報係 宛